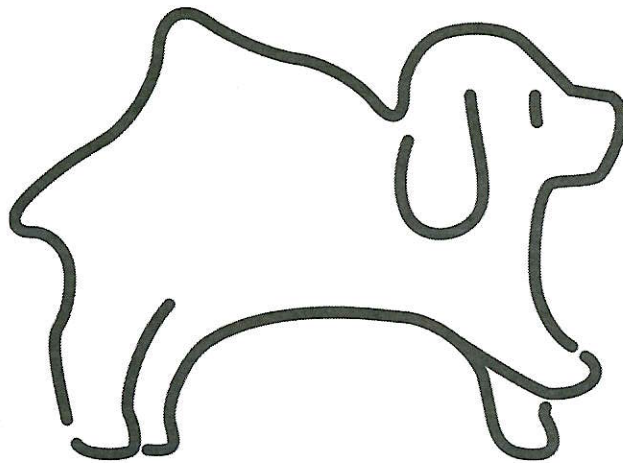


中学校 技術・家庭科 第24回
全国中学生創造ものづくり
教育フェア in かながわ

フェア運営委員会
運営要項



Kanagawa-Ken

関連日程

フェア運営委員会	令和6年(2024年)10月18日(金)	16:10~17:00
前日準備	令和6年(2024年)11月1日(金)	14:00~17:00
当日	令和6年(2024年)11月2日(土)	8:00~

会場 湘南工科大学

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会フェア事務局

I 役割分担

会場部 研究委員(技術)4名 ※県央地区, 横浜地区, 川崎地区, 相模原地区を除く

○主任 谷津総括教諭(中) ○副主任 鈴木教諭(県西)

【前日】受付設営・準備 各案内標示 【当日】選手受付 総合受付 巡回

■タイムテーブル (下の図はあくまで例ですので, 主任が適宜指名・役割分担してください)

				7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16		
				30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30
1	◎	中	谷津	受付	受付	休憩	受付	休憩	受付	休憩	受付	休憩	受付	休憩	受付	休憩	受付	片付け	片付け	片付け	片付け	片付け	片付け	
2		横三	石渡																					
3	○	県西	鈴木																					
4		湘南	那須																					

■当日の役割

- 当日の集合時刻は7:45です。受付の場所は、A館1Fラウンジです。
- 7:45から8:00までは運営委員及び協力役員を受け付けられるようにしてください。
- 8:00から8:30まで, 引率教員・参加生徒, 審査員, 一般来場者ともに同じ場所で受け付けます。
- 競技に参加する生徒は引率教員による一括受付です。優先的に受け付けられるようにしてください。
- 配付物品(受付で渡すもの)
 - ・引率教員: プログラム(配付数は別に定める)
 - ・審査員: プログラム, 胸花(別表の通り+木枝学長には赤の大胸花)
 - ・一般来場者: プログラム(各家庭に1部), 名札(前日準備で手の空いている方が作成)
- 雨天時の傘袋を必要に応じてお渡しください。回収はしません。
- 受付を済ませた生徒がスムーズに移動できるように, 会場の場所をお伝えください。
- 来場者数を集計するため, 人数を必ず記録してください。
- 9:00の段階で受付を済ませていない選手がいましたら, 競技会場まで行き, 部門担当の事務局(木チャレ▶向井 t おベコン▶中瀬 t ロボコン▶坪田 t)にお伝えください。
- 8:00前後に最も来場者が集中する見込みです。
- お帰りになる一般来場者に名札の返却やアンケートの提出を呼びかけてください。
- なにか問題はあった場合は, まず, 谷津総括教諭(中)に報告してください。
- 谷津総括教諭(中)は, 諸問題の報告を受けた場合, フェア事務局長に伝えてください。
- 大会当日, 止むを得ず途中でお帰りになる際は, 谷津総括教諭(中)に伝えてからお帰りください。
- 各自治体・各学校で使用しているIDカードを御着用ください。
- 会場部で準備したものの片付けが終了した時点で一度集まります。

■前日準備の役割

- 前日準備はA館1Fラウンジに御集合ください。
- 前日準備は受付の設営, 会場内の案内標示の用紙を貼付します。(必要物品参照)
- 受付は「選手・監督」「県内役員」「審査員」「一般来場者」の4部門設けます。
- 特に受付は入念にリハーサル等を実施するとともに, 配付物品の確認をお願いいたします。

■必要物品

○拡大コピー・印刷関係（前日準備で掲出する用紙）

・校舎配置図（拡大コピー） ※方向注意！

・受付表示（A3）

総合受付

・競技・審査・控室の標示（A3）

大会本部（事務局控室）

来賓・審査員控室

運営委員・協力役員(県央)控室

生徒作品コンクール

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

プログラミングコンテスト体験コーナー

一般来場者 昼食スペース

木工チャレンジコンテスト

木工チャレンジコンテスト審査員室

木工チャレンジコンテスト生徒控室 プレゼンテーション会場

「あなたのためのおべんとう」コンクール

「あなたのためのおべんとう」コンクール審査員室

「あなたのためのおべんとう」コンクール生徒控室 プレゼンテーション会場 高

「あなたのためのおべんとう」コンクール観覧スペース

「あなたのためのおべんとう」コンクール昼食会場

総合開会式・閉会式会場

創造アイデアロボットコンテスト

創造アイデアロボットコンテスト審査員室

・ 縦看板（A3×3） ・ 横看板（w=2,700～3,000）×5 ・ 式次第等（拡大コピー）

県立中央高等学校

全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ

2023年10月27日(土)～29日(月)

中学校 技術・家庭科

全国中学生創造ものづくり教育フェア in かながわ

■参考資料

【総合開会式】		8-301 カンファレンスホール	司会 綾部 春菜(県技家研 研究委員長)
1	開式の言葉		大会副会長 比留川義弘
2	大会会長挨拶		大会会長 松山雅彦
3	会場校挨拶		湘南工科大学学長 木枝暢夫様
4	祝辞		
		神奈川県立総合教育センター企画調整部広報情報班	
		副主幹兼指導主事 佐藤竜也様	
		神奈川県教育委員会 教育局支援部子ども教育支援課小中学校生徒指導グループ	
		指導主事 高橋智子様	
5	審査員紹介		大会副会長 飯島敏明
6	参加生徒決意表明		
木工チャレンジコンテスト			前大会優勝校
「あなたのためのおべんとう」コンクール			//
創造アイデアロボットコンテスト			//
7	諸注意		大会運営委員長 矢坂健太郎
8	閉式の言葉		大会副会長 青柳充敬

総務部 広報委員6名 ※県央地区、横浜地区、川崎地区、相模原地区を除く + 委員外3名

○主任 安田総括教諭(県西) ○副主任 白勢総括教諭(湘南)

【前日】各会場記録・確認 【当日】各会場記録、成績・賞状管理、接待・誘導 巡回

※肖像権に配慮が必要な方がいらっしゃいましたらフェア事務局長までお知らせください。

※協力役員を含めて運営スタッフへの昼食の準備はございません。たいへん申し訳ありません。

■タイムテーブル(下の図はあくまで例ですので、主任・副主任が適宜指名・役割分担してください)

		7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16		
		30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30		
1	○ 湘南	駐車場				休憩		弁当		休憩				駐車場				片付け				
2	○ 湘南	駐車場				休憩		弁当		休憩				駐車場								
3	◎ 県西	接待				賞状作成																
4	◎ 県西	接待				賞状作成																
5	◎ 中	誘導				記録		休憩		記録		休憩		記録		休憩			記録			
6	◎ 厚木	誘導				記録		休憩		記録		休憩		記録		休憩			記録			
7	◎ 清川・厚木	駐車場				休憩		記録		休憩		記録		休憩		記録			片付け			
8	◎ 大和・厚木	駐車場				休憩		記録		休憩		記録		休憩		記録			片付け			

■当日の役割

- 総務部での集合はありません。受付の場所は、A館1Fラウンジです。事前に受付を済ませてください。
- なにか問題はあった場合は、まず、安田総括教諭(県西)に報告してください。
- 安田総括教諭(県西)は、諸問題の報告を受けた場合、フェア事務局長に伝えてください。
- 大会当日、止むを得ず途中でお帰りになる際は、安田総括教諭(県西)に伝えてからお帰りください。
- 各自治体・各学校で使用しているIDカードを御着用ください。
- 総務部で準備したものの片付けが終了した時点で一度集まります。

〔 記 録 〕

- GIGA 端末, スマートホン, デジタルカメラ等を使用し写真を撮影します(指定拡張子:.jpeg)。
- 開閉会式(表彰式を含む), 各部門の競技風景, 各展示物等を撮影してください。
- 指定拡張子:.jpeg に対応する GIGA 端末, スマートホン, デジタルカメラ等は各学校・各委員で御準備ください。
- 前日・当日ともに集合場所は **A 館 1F ラウンジ** です。

〔 賞 状 〕 @大会本部

- 当日は部門別閉会式の直前に結果が集中して判明するので, **指定伝票に記入のうえ該当する賞状にクリップ止め**してください。
- 必要に応じて各会場と大会本部間の伝令担当を設けてください。
- 毛筆による揮毫筆耕はいたしません。

〔 接 待 〕

- 8:25 以前に受付した審査員は一旦, **来賓・審査員控室(8-202)**へ御案内ください。
- 8:25(総合開会式5分前)に審査員を **8-301(カンファレンスホール)**に御案内ください。
- 総合開会式終了後は, 各部門の審査員室を御案内ください。
 - ・作品, バッグ▶**A-207** ・木工▶**A-109** ・おべ▶**附属高校選択4教室** ・ロボ▶**体育会館ビデオ室**
- 審査員及び会場校の昼食を事前に注文(お茶込みで **1,000 円以内程度の弁当を 25 個**)し, 各審査員室に配達してください。頃合いを見て容器を回収してください。

〔 誘 導 〕

- 受付が済んだ引率教員及び参加生徒は各競技会場に荷物を保管していただき(貴重品は引率教員が管理する), **8-301(カンファレンスホール)**に誘導する。
- 会場内外で適宜来場者に御案内及び誘導をお願いいたします。
- 雨天時のみ **A-109**を一時的に開放しますが選手・監督への事前の周知は不要です。

〔 駐 車 場 〕

- 自動車の誘導を行います。ロボコンの搬入出, おベコンの搬入, 許可車輛の誘導を行います。
- 基本的に参加者や一般来場者の駐車場は用意していないので, 入口で必ずどの立場で来られているのかを確認してください。原則, 民間の時間貸駐車場の利用をお願いしてください。
- 事務局員を通してフェア事務局長に申請した車輛のみ駐車許可証を掲出することになっています。
- 違法駐車対策として, 恐れ入りますが周辺道路を適宜巡回していただくようお願いします。
- 緊急車両等が通れるよう, 御配慮ください。

■前日準備の役割

- 前日準備は **A 館 1F ラウンジ**に御集合ください。
- 前日は, 設営前の状態を撮影してください。全員で各会場を同時進行的に撮影します。**撮影が終了してから各会場の担当事務局に記録完了の報告を行ってください。**
- 前日は各会場の下見を行い, 接待及び誘導が円滑になるよう御準備ください。

■必要物品

- GIGA 端末, スマートホン, デジタルカメラ等 (.jpeg 対応) ……各学校・各委員
- 湯茶・弁当 ……各学校・各委員
- 賞 状 ……事務局
- 駐車許可証 ……事務局

庶務部 フェア委員(県央地区) 2名+事務局会計 2名

○主任 外間会計(事務局) ○副主任 野村会計(事務局)

○in かながわ全体の庶務(会計)を担います。

■主な役割

○事務局 外間会計より2万円の予算を鈴木教諭(県央)・村上教諭(県央)にお渡しします。その予算の用途を計画し、決算書を作成します。

○過去の in かながわでは接待関係が中心でした。領収書の宛名は「第 24 回 創造ものづくり教育フェア in かながわ」で統一し、領収書綴(事務局指定の用紙)に貼付し、物品名等を御記入ください。

●上記は過去の会計処理になります。in かながわ運営担当地区として庶務(会計)を担っていただくこととなりますので、事務局会計とともによりよい会計処理について御検討いただければ幸いです。

競技部 フェア委員 16名+合同委員 12名+委員外(技術)10名+委員外(家庭)7名

	フェア委員	研究委員	広報委員	委員外	人数
生徒作品コンクール	◎村田 (中)	○岡本 (県央) 宮田 (横浜)	藤田 (県央)	技術0 家庭4	1 7
木工チャレンジ(技)	◎内田 (横浜)	飯島 (横浜) 公家 (川崎)		技術2	5
アイデアバッグ(家)		◎山崎 (川崎)		家庭2	3
おべんとうコン(家)	◎村上 (県央) ○小菅 (中) 菊池 (横浜) 菊池 (川崎) 竹田 (相模原) 堀内 (横三) 山名 (湘南) 木下 (県西)	小林 (相模原)		家庭1	10
ロボコンテスト(技)	◎佐久川(湘南) ○鈴木 (県央) 團野 (川崎) 久保 (相模原) 山本 (横三) 星野 (県西)	柿澤 (相模原) 川上 (県央)	関 (横浜) 渡邊 (川崎) 高橋 (相模原)	技術8	19

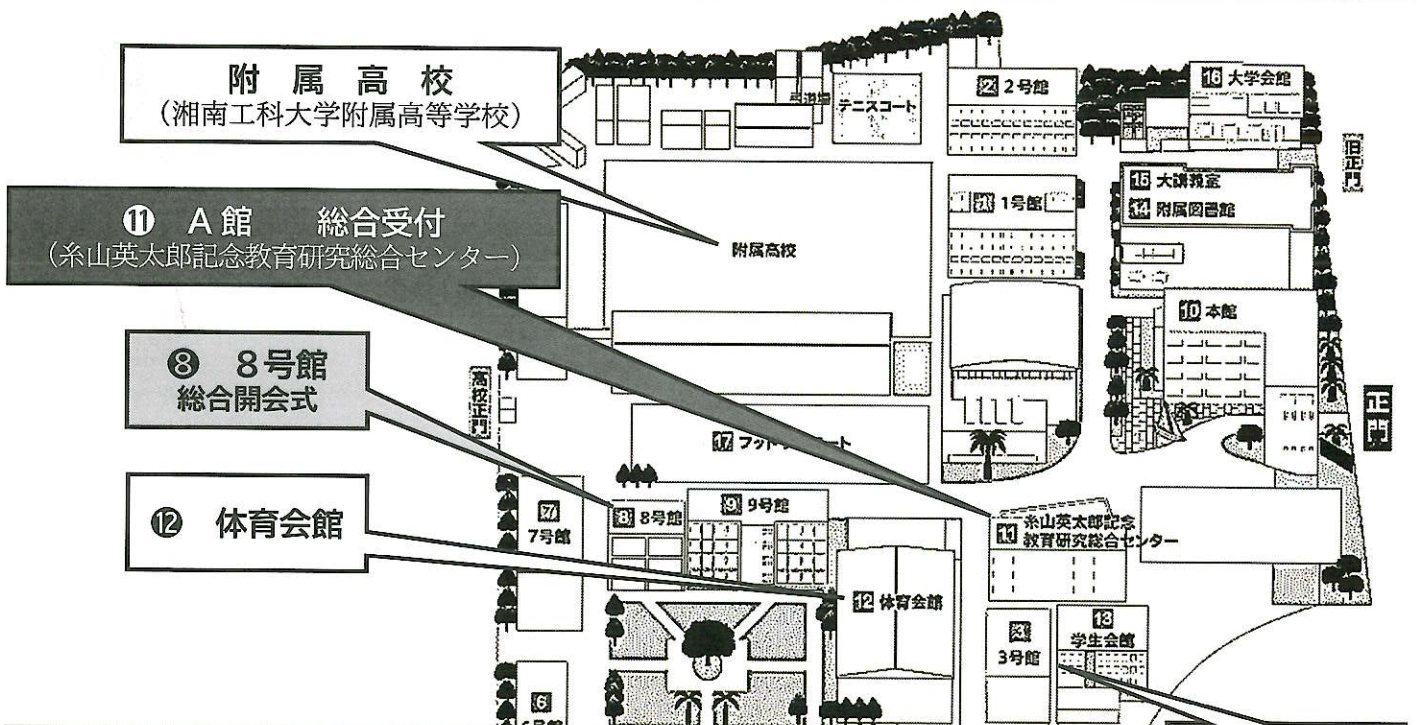
★フェア運営委員会、前日準備及び当日のいずれか又は全部の欠席が予め判明している場合は、各担当事務局を通してフェア事務局長にお知らせください。

II 参考資料

◆◆◆ 巡回について ◆◆◆

(会場部, 式典部, 総務部に共通する内容)

- 問題等があった場合, まず主任の方かお近くの事務局に報告してください。
- 会場内の競技以外で生徒が集まりそうな場所(特に昼食場所)の巡回をお願いします。
- 当日, 立入禁止場所については仕切を設けませんので, 特に注意して巡回をお願いします。
- 控室のごみの始末について過去に問題になっているので御留意ください(ごみの持ち帰り)。
- トイレの使い方について過去に問題になっています(破損, ペーパーをわざと詰まらせる等の行為がありました)。



使用教室一覧

運営部門	大会本部(事務局控室)	⑪A-108
	来賓・審査員控室	③8-202 ⑪A-207
	運営委員・協力役員控室	⑪A-103
	総合開会式等式典会場	③8-301
総合受付, 作品コンクール, バッグ, プロコン体験, 昼食会場		⑪A館 1F ラウンジ
木工	競技会場	③3号館 3F 木材加工室
	生徒控室 プレゼン会場	③3号館 3F 講義室
	審査員室	⑪A-109 ※
おべんとう	競技会場	附属高校 調理室
	生徒控室 プレゼン会場	附属高校 被服室
	審査員室	附属高校 選択4教室
	観覧スペース	附属高校 視聴覚室
ロボ	競技会場	⑫体育会館 体育室(アリーナ)
	審査員室	⑫体育会館 ビデオ室

2024-R6 inかながわタイムテーブル

2024.10.18

	事務局	運営委員	受付一般	プロコン体験	作品コン・バッグ	木工チャレンジコン		創造アイデアロボコン		あなたのためのおべんとうコン				総合式典会場			
	108	103	A館		審査員	審査員	競技	競技	審査員	競技			審査員	8号館			
			1Fラウンジ		207	109	3号館	3号館	体育会館	体育会館	ビデオ室	調理室	被服室	視聴覚室	選択4	202	301
7:50																	
8:00																	
8:10			選手受付														
8:20																	
8:30																	
8:40																	
8:50																	
9:00																	
9:10																	
9:20																	
9:30																	
9:40																	
9:50																	
10:00																	
10:10																	
10:20																	
10:30																	
10:40																	
10:50																	
11:00																	
11:10																	
11:20																	
11:30																	
11:40																	
11:50																	
12:00																	
12:10																	
12:20																	
12:30																	
12:40																	
12:50																	
13:00																	
13:10																	
13:20																	
13:30																	
13:40																	
13:50																	
14:00																	
14:10																	
14:20																	
14:30																	
14:40																	
14:50																	
15:00																	
15:10																	
15:20																	
15:30																	
15:40																	
15:50																	
16:00																	
16:10																	
16:20																	

●前日の解散時刻と当日の集合・解散時刻は部門ごとに設定 ●そのため、全体の打合せ・反省は(前日準備の集合)と(第5回 合同委員会)のみ

			7	8	8	9	9	10	10	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	16	16	
			30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00	30	00
運営	1	★	部会長	松山校長																		
	2	☆	副部会長	飯島校長																		
	3	☆	副部会長	青柳教頭																		
	4		フェア長	矢坂																		
	5	●	事務局長	嘉山																		
会場	6	1	◎	中	谷津																	
	7	2		横三	石渡																	
	8	3	○	県西南	那須																	
	9	4		湘南	那須																	
式典	10	1	◎	中	綾部																	
	11	2		横三	大野																	
	12	3	○	県西南	白石																	
	13	4		湘南	勢村																	
総務	14	1	○	湘南	中																	
	15	2		湘南	中																	
	16	3	◎	県西	原田																	
	17	4		県西	鈴木																	
庶務	18	5		厚木	高橋																	
	19	6		厚木	高橋																	
	20	7		厚木	高橋																	
	21	8		厚木	高橋																	
生徒作品	22		●	副部会長	山口副校長																	
	23		●	書記	石井																	
	24	1	◎	中	村田																	
	25	2	○	県央	岡本																	
バッグ	26	3		横浜	宮田																	
	27	4		横浜	藤田																	
	28	5		愛川	藤田																	
	29	6		愛川	内堀																	
木工チャレンジ	30	7		大和・厚木	細江・竹本																	
	31	8		大和・海老名	本多・小林																	
	32		●	副部会長	山口副校長																	
	33	1	◎	会川	外間																	
あなたのためのおべんとう	34	2		野	山																	
	35	3		野	小林																	
	36	4		野	小林																	
	37		★	副部会長	石井校長																	
創造アイデアロボット	38		☆	参与	北井																	
	39	1	◎	書記	向井																	
	40	2		横浜	内田																	
	41	3		横川	飯島																	
創造アイデアロボット	42	4		厚木	津水																	
	43	5		海老名	清水																	
	44		★	副部会長	荒松教頭																	
	45		☆	顧問	柴崎校長																	
創造アイデアロボット	46		●	家庭部長	中瀬																	
	47		●	書記	笠井																	
	48		●	会計	野村																	
	49	1	◎	県央	村上																	
創造アイデアロボット	50	2	○	中	菅池																	
	51	3		横川	小菅																	
	52	4		川崎	菊池																	
	53	5		相模原	竹林																	
創造アイデアロボット	54	6		相模原	小林																	
	55	7		相模原	内堀																	
	56	8		湘南	山下																	
	57	9		県西	木下																	
創造アイデアロボット	58	10		大和	天野																	
	59		★	副部会長	比留川校長																	
	60		●	技術部長	坪田																	
	61		●	書記	上條																	
創造アイデアロボット	62	1	◎	湘南	佐久川																	
	63	2	○	県央	鈴木																	
	64	3		横浜	関野																	
	65	4		川崎	野邊																	
創造アイデアロボット	66	5		川崎	渡久保																	
	67	6		相模原	久保																	
	68	7		相模原	高橋																	
	69	8		相模原	高橋																	
創造アイデアロボット	70	9		横三	山本																	
	71	10		県央	川上																	
	72	11		県西	星野																	
	73	12		大和	中野																	
創造アイデアロボット	74	13		綾部	中野																	
	75	14		伊勢原	関原																	
	76	15		伊勢原	小原																	
	77	16		伊勢原	小原																	
創造アイデアロボット	78	17		厚木・大和	武藤・浅井																	
	79	18		座間・海老名	神部・藤谷																	
	80	19		平塚	遠藤・平塚																	

2024-R6 inかながわ来賓・審査員一覧

24.10.18

作品(技)	● 研究会 会長	松山 雅彦	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 部会長
	● 研究会 副会長	飯島 敏明	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 副部会長
	● 研究会 副会長	山口 修司	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 副部会長
作品(家) バック	● 政令市 管理職	村井 直子	相模原市立若草中学校 副校長
	● 政令市 指導主事	川城 晴奈	川崎市教育委員会 川崎市総合教育センターカリキュラムセンター 指導主事
	● 研究会 顧問	柴崎 厚子	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 顧問
木工	● 横浜国立大学関係者	小林 大介	横浜国立大学 教育学部学校教育課程技術教育 准教授
	● 横浜国立大学関係者	鬼藤 明仁	横浜国立大学 教育学部学校教育養成課程技術教育 教授
	● 研究会 参与	北井 淳一	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 参与
おべ	○ 県 指導主事	高橋 智子	神奈川県教育委員会 教育局支援部子ども教育支援課小中学校生徒指導グループ 指導主事
	○ 政令市 指導主事	塚田 梨絵	横浜市教育委員会事務局 人権健康教育部健康教育・食育課 指導主事
	○ 市町村 指導主事	平田 裕美子	平塚市教育委員会 学校教育部教育指導課 指導主事
	○ 今年度開催地(県央)	宮川 美保	大和市立大和中学校 栄養教諭 / 大和市立北部中学校給食共同調理場
	○ 横浜国立大学関係者	坂本 智	横浜国立大学 教育学部学校教育養成課程技術教育 教授
ロボ	○ 湘南工科大学関係者	佐藤 博之	湘南工科大学 工学部機械工学科 教授 教職センター長
	○ 県 指導主事	佐藤 竜也	神奈川県立総合教育センター 企画調整部広報情報班 副主任兼指導主事
	○ 政令市 指導主事	岡本 寛	横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部小中学校企画課 主任指導主事
	○ 政令市 指導主事	岡田 智弘	川崎市教育委員会 川崎市総合教育センターカリキュラムセンター 指導主事
	○ 政令市 指導主事	須藤 雄紀	相模原市教育委員会 教育局学校教育部教育センター学習情報班 指導主事
	● 研究会 副会長	比留川 義弘	神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 副部会長

2024-R6 inかながわ賞状分類表

2024.10.18

	優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
生徒作品コンクール	県知事賞	県教育長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞
木エチャレンジコン	優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
	県知事賞	県教育長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞
おんどろうコンクール	優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位		
	県知事賞	県教育長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞		
ロボコン 総合	ロボコン大賞	準ロボコン大賞	審査員特別賞					
	県知事賞	県教育長賞	学長賞	*	*	*	*	*
ロボコン 基礎	関東進出1位	関東進出2位	関東進出3位	得点賞1位	得点賞2位	得点賞3位		
	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	*	*
ロボコン 計測制御	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	*	*
ロボコン 応用発展	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	*	*
ロボコン 動画	中文連会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	県技家研会長賞	*	*	*
アイデアバグコン	優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
	県知事賞	県教育長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞	中文連会長賞

県知事賞	5	全産協会長賞	0
県教育長賞	5	県技家研会長賞	15
中文連会長賞	30	学長賞	1



上位大会進出

Ⅲ 生徒作品コンクール

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

1 目 的

(1) 生徒作品コンクール

全国の中学生在が、工夫創造して製作した作品を展示し、生徒相互の「ものづくり」への意識を高揚するとともに、製作における技能の向上を目指す。

(2) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

- ①「ものづくり」を通して、知識や技能を習得し活用することにより、ものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。
- ②技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びを味わう機会とする。
- ③自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- ④製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 受 賞

(1) 生徒作品コンクール

- ① 県知事賞（1本）
- ② 教育長賞（1本）
- ③ 中学校文化連盟会長賞（4本）
*以上6本が全国大会へ（I・II部門 技・家の中から合わせて6点）
- ④ 神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 会長賞（2本）

(2) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール

- ① 県知事賞（1本）
- ② 教育長賞（1本）
*以上が関東進出
- ③ 中学校文化連盟会長賞（6本）

3 流 れ

前 日	【審査準備】 審査のための審査資料と作品を並べる。
当 日9:00	【集 合】 9:00にラウンジに集合。 運営委員及び協力役員と、一日の動きを確認する。
	【審 査】 審査をする時間・審査方法等を当日、審査員と確認する。 審査完了後、審査結果を電話連絡（表彰希望の生徒のみ）
11:00	【賞状準備】 各賞を本部に報告し、賞状を準備する。
13:30	【表 彰 式】 式典部と連携し表彰式を行う。 司会・進行 式典部 1 結果発表・表彰（外間会計） 2 講 評（ ） 3 諸連絡（外間会計） 4 閉式の言葉（山口副部会長）
14:30	【片 付 け】 受賞作品・資料と、その他の作品・資料に分けて片付ける。

作品提出先➡

【作品提出先】

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
茅ヶ崎市立松浪中学校 教諭 坪田 柁人（技術部長）
☎253-0022 茅ヶ崎市松浪二丁目6番47号

書類提出先➡

（生徒作品コンクール）

【競技担当者・申込書類提出先】

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
藤沢市立藤ヶ岡中学校 教諭 石井 美咲（書記）
☎251-0004 藤沢市藤が岡三丁目18番1号
電話 0466-26-5197
E-mail アドレス ishii-mi@fujisawa-kng.ed.jp

書類提出先➡

（アイデアバッグコンクール）

【競技担当者・申込書類提出先】

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
川崎市立西中原中学校 教諭 外間 愛理（会計）
☎211-0041 川崎市中原区下小田中2丁目17番1号
電話 044-777-2239 ファクシミリ 044-799-3954

IV 木エチャレンジコンテスト

1 目的

- (1) 中学生による、木が中心のものづくりの技能、技術を競う大会を設け、中学校技術・家庭科で学習したものづくりの技術・技能を発揮する場とする。
- (2) ものづくり学習、問題解決学習への意欲や希望、そして創造の夢を与え、中学生のものづくり交流の場とする。
- (3) プレゼンテーション能力の向上を図り、ものづくりの技能のみならず自分の考えを分かりやすく表現でき、広く社会に関われる人材を育成する。

2 予選について

- (1) テーマ 「生活の問題を木工の技術により解決できる収納棚」の構想を立てる。
- (2) 課題について

〈課題〉 上記のテーマについて設計し、3時間30分以内で製作できるものとする。

パイン板材4枚のうち(寸法 t15×W150×L600)2枚、(寸法 t15×W30×L600)2枚とする。これら以外は、接合金具(釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番)及び、取手、フック、マグネットキャッチ、補助に使用するプラスチック材のみ使用可とする。

※材料取りをする際に、縦引きによる切断は含んでも含まなくてもよい。

※くぎ(32mm・38mm等)・酢酸ビニル樹脂系接着剤を使用する。

※製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、くぎ打ちによる組み立て、直角定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。平かんによる作業は含まなくてもよい。

※機械による部品加工(電動糸鋸盤、ボール盤、ベルトサンダー)は使用しても良いが、可能な限り手作業を推奨する。

- (3) 応募について

①〈課題〉の条件を満たす作品の構想図(A4のケント紙を使用)をPDFファイルで送信

②参加応募書(全日中 Web サイトよりダウンロード)を簡易書留で郵送(費用は各校負担)

- ・令和6年9月5日(木曜日)までに競技担当者まで提出をよろしくお願いします。
- ・①の送信及び②の送付が完了しましたら、必ず電話連絡による確認をしてください。
- ・審査の結果、県大会出場が決定した場合、大会事務局より令和6年9月23日(月曜日)までに、競技に係る連絡をいたします。その際に全国大会への推薦を希望するかを確認させていただきます。
- ・なお、県大会の出場定員は最大6名(予定)で、原則として出場できるのは各学校3名までとします。
- ・ただし、予選の応募人数には規定はありません。

- (4) 審査について

①課題である「生活の問題を木工の技術により解決できる収納棚」を決められた材料で、日頃の授業で身につけた問題解決する力を発揮し、構想が自らの生活上の問題点の解決を図るものになっている。

②近年問題となっている環境問題の観点から材料を余すことなく有効に使われており、環境への配慮ができています。

- ・上記2点を踏まえ、製作構想ができていることを重点とする。

3 in かながわについて

(1) テーマ 「生活の問題を木工の技術により解決できる収納棚」

(2) 競技内容

- ①予選で設計した製作図に示された作品の製作。
 - ②製作品の構想シートに基づき、製作した作品についてプレゼンテーションを行う。
 - ③in かながわにおいて全国大会出場の希望者は、審査により全国大会1次審査へ推薦を行う。
- ※審査の結果、神奈川県から推薦が出ない可能性もあります。

(3) 参加資格 次の①及び②を満たす者。

- ①神奈川県内の国公立立中学校に在籍する中学校1～3年生で、校長が参加を認めた者。
- ②全国大会への出場を希望し、上位に入賞した選手1名は全国大会1次審査課題に基づき、11月中旬までに、製作品、製作動画、構想図、問題解決レポート、材料取り図、工程表及び応募書を運営事務局に提出する。(送料各校負担)

※詳細は全日中フェアHP (<https://ajgika.ne.jp/fair.html>) を参照。

このため、令和7年2月1日(土曜日)、2月2日(日曜日)に開催される第24回全国中学生創造ものづくり教育フェアの出品審査へ参加することが可能である者が全国大会出場を希望することができる。

(4) 本選の日程 (案)

時 間	概 要	場 所
8:00～8:20	受 付	糸山英太郎記念教育研究センター 入口
	材 料 購 入	実験実習棟 3階 実習室前
8:30～9:20	全 体 開 会 式	8-301 カンファレンスホール
	準 備 ・ 事 前 説 明	実験実習棟 3階 実習室
9:20～11:20	前 半 競 技	実験実習棟 3階 実習室
11:20～12:00	昼 食 ・ 休 憩	実験実習棟 3階 講義室
12:00～13:30	後 半 競 技	実験実習棟 3階 実習室
13:40～14:00	プレゼンテーション	実験実習棟 3階 講義室
14:00～14:15	片 付 け	実験実習棟 3階 実習室
14:15～14:30	部 門 別 閉 会 式	8-301 カンファレンスホール 司会・進行 式典部 1 結果発表・表彰 (向井書記) 2 講 評 () 3 諸連絡 (向井書記) 4 閉式の言葉 (北井参与)

(5) 表彰 (予定)

- ・神奈川県知事賞 (1位)
- ・神奈川県教育長賞 (2位)
- ・神奈川県中学校文化連盟会長賞 (3～8位)

※出場者数により賞の内容、数が変わる可能性がありますので予めご了承ください。

(6) 評価の観点 評価の観点とは、以下のA～Eの5項目とする。

A 創意工夫……作品に創意工夫があるか。

- (1) 作品に形態、構造、機能などの点で創意工夫があるか。
- (2) 与えられた材料を過不足なく有効、合理的に使用しているか。
- (3) 与えられた条件を満たした創意工夫があるか。

B 製作態度……安全に留意して合理的に作業を進めているか。

- (1) 安全に留意して作業を進めているか。
- (2) 工具を合理的で丁寧に扱っているか。
- (3) 合理的な手順で作業を進めているか。

C 製作技能……材料の固定、工具の持ち方、作業身体動作等、工具の合理的な使用に関する知識と技能を修得しているか。

- (1) のこぎりの使用に関する知識と技能を修得しているか。
- (2) げんのうの使用に関する知識と技能を修得しているか。
- (3) のみの使用に関する知識と技能を習得しているか。
- (4) その他の工具の使用に関する知識と技能を修得しているか。

D 作品の精度……作品の仕上がり精度・材料の使用法がよいか。

- (1) 部材の寸法が正しく、接合面に目違いがないか。
- (2) 作品の角度は正しいか。
- (3) 表面がきれいに仕上がっているか（逆目ぼれ、端欠け、かんなまくら、耳立ち、くぎの突出、げんのうによる打撃痕等）。
- (4) 各部材の合理的な使用がなされているか（木目による繊維方向等）。

E プレゼンテーションの内容……作品に対して的確なプレゼンテーションができているか。

- (1) 「作品を作ろうとしたきっかけ」「使用法とシステム」「工夫した点」「頑張った点」がプレゼンに組み込まれているか。
- (2) 伝えたい相手に伝わりやすい具体的なプレゼンができたか。

(7) 審査員（予定）

- ・横浜国立大学 教育学部学校教育課程技術教育 小林大介 准教授
- ・横浜国立大学 教育学部学校教育課程技術教育 鬼藤明仁 教授
- ・神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 北井淳一 参与

(8) 運営役員

- ・運営責任者 石井秀明（神奈川県技・家研 副部長）
向井大貴（神奈川県技・家研 書記）
- ・神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会 スタッフ

4 参加費用

- (1) 予 選 製作材料費，郵送料は各校負担とする。
(2) in かながわ 製作材料費 (2,300 円)，交通費等は各校負担とする。
(3) 全 国 大 会 大会参加費未定円，振込手数料は各校負担とする。

5 応募書類等の日程について

日 程	提 出 物	備 考
9月5日まで	①構想図 (A4 ケント紙)	PDF データをメールで送信
	②参加応諾書(全日中 HP より)	申込先へ <u>簡易書留</u> で郵送
	③電話連絡にて受付	申込先へ電話 横浜市立舞岡中学校 045-822-2722
全 国 大 会 出 場 者		
11月中旬	全日中 HP にて発表	

【競技担当者・申込書類提出先】

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
横浜市立舞岡中学校 教諭 向井大貴 (書記)
☎244-0813 横浜市戸塚区舞岡町 226 番地
電 話 045-822-2722
E-mail アドレス ta01-mukai@city.yokohama.jp

V 「あなたのためのおべんとう」コンクール 実施要項

1 目的

- (1) 中学校技術・家庭科での学習内容を生かし、おべんとう作りを行う。その成果の発表を通して、知識や技能の向上を図りよりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
- (2) 普段通りの日常生活(ケの日)の中で、食べてもらう相手のことを考えたおべんとう作りを通して、身近な人との関わりの大切さや「食」の重要性を知る。
- (3) コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、県内の中学生の交流の場とする。

2 競技内容

(1) 食 材

- ①規定課題「魚使った調理」を主菜とする。
※魚は、すり身や干物、缶詰、瓶詰め、冷凍も可。
※甲殻類(エビ、イカ、カニ)は魚の仲間としない。
- ②材料費の目安は、1チーム1人980円×人数分とする。
- ③食材(米や調味料も含む)は参加者が準備する。
※あらかじめ小分けにしないこと、計量は時間内に行う。

(2) 参加人数

出場チームは1~2名で1チームとする。各校からの参加チーム数は、4チームまでとする。また、チーム構成メンバーが重複してのエントリーは認めない。

◇参加費 一人につき、**600円**(光熱費及び競技運営諸費用として)を大会当日にお釣りが発生しないように支払う。

◇競技について(作品の条件) 対象者を意識し、旬の食品や食事摂取基準等を意識し、参加人数に応じて必要な分量を調理する。

(3) 競技時間

- ①調理の下準備・調理・片付けを全て含めて、100分以内で行い、ふたをしめて終了とする。
- ②洗米吸水、乾物の処理も(炊飯開始も可能)競技時間に行う。
- ③プレゼンテーションは1チーム1分の時間を厳守する。

(4) 用 具

- ①弁当箱、弁当小物は各自で選び、持参する。⇒形、色、サイズ等は自由
- ②特別な用具等は、各自持参しても良い。ただし、包丁は安全面を考え、持ち込みは無しとして、会場で準備したものを使用する。

(5) 服 装

エプロン、三角巾、上履き(かかとがあり、脱げないもの)、マスクは各自持参とする。

(6) 申 込

申込方法所定の用紙に、必要事項を記入し、学校長の承認を経て申し込む。

〈第一次審査に必要な書類について〉5 応募書類等の日程についてを参照

(7) 審 査

〈第1次審査〉書類審査(選考結果は大会事務局より連絡をする)

〈第2次審査〉実際に調理競技を行う。提出されたレポートをもとに選考し、上位6グループは実際の大会で競技を行う。神奈川県大会を1位通過すると、そのまま全国審査へ進む。全国審査を通過すると、全国大会への参加資格を得る。

(8) 審査項目

計画	食材・献立	食材・献立が対象者にふさわしいか。
	栄養バランス	対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすに準じ、栄養バランスがとれているか。
	規定課題	「魚」を主菜として効果的に調理し、おべんとうに適した献立になっているか。
技能	手順	調理の手順や作業は能率的に行われているか。
	調理方法	おべんとうに適した調理方法が工夫されているか。
	盛りつけ	彩りや配置を工夫して盛りつけているか。
	味	個々の食材を生かし、おべんとうに適した味付けとなっているか。
	安全な作業	用具を適切に扱い、安全に配慮して作業を行っているか。
	環境への配慮	環境に配慮して調理を行っているか。(食材、水、熱源、器、洗剤など)
表現	完成	時間内に完成することができたか。(後片付けも含めて100分間)
	テーマ	テーマに沿う適切な発表であり、課題設定は適切であるか
	組み立て	食べてもらう人のことを考えたおべんとうであること。 食の重要性が理解されていることがわかる内容であるか。

3 本選の日程

時 間	概 要	場 所
8:00~8:20	受付1	糸山英太郎記念教育総合センター 1Fラウンジ
	受付2	附属高校視聴覚室前
	荷物 食材搬入	視聴覚室・調理室
8:20~8:30	移動	
8:30~9:20	全体開会式	8-301 カンファレンスホール
	移動・身支度・説明	附属高校視聴覚室
9:20~9:30	調整時間	
9:30~	調理開始(100分)	調理室
~11:10	調理終了	
11:10~11:20	移動・準備	
11:20~11:30	プレゼン・連絡	被服室
	移動	
11:45~	部門閉会式	8-301 カンファレンスホール
	移動	
	昼食・解散	糸山英太郎記念教育総合センター 1Fラウンジ

4 表 彰(上位6グループすべてに賞状が出ます)

- ・神奈川県知事賞 1位
- ・神奈川県教育長賞 2位
- ・神奈川県中学校文化連盟会長賞 3位~6位

5 応募書類等の日程について

月 日	内 容	備 考
5月～9月	◎広報活動	・各市町村に通知。
9月5日(木)までに	①レポートデータ(PDF版)を送信 ②レポート各15部(両面白黒印刷14部・カラー印刷1部) ③返信用 レターパックライト	①電子メールにて、添付送信する。 ②, ③レターパックで郵送, 必着。 ・レポートは http://ajgika.ne.jp/ よりダウンロード(全国HP)
9月13日(金)	◎レポート審査	・フェア運営委員と事務局で審査
9月13日(金)以降	◎レポート審査結果の通知を受け取る	・担当教員宛に送付する。(事務局より)
9月27日(金)までに必着	神奈川県予選に出場が決定後 ・レポート(片面カラー印刷)15部 ・参加応募書 ・メール連絡を入れる	・レターパックで郵送, 必着。 ・電子メールにて、送付したことの連絡も入れる。参加応募書は http://ajgika.ne.jp/ よりダウンロード(全国HP)
9月末日までに	・担当者へメール返信	・事前に連絡のあった事項について担当者へメール返信する。
11月2日(土)	●コンクール(競技審査)	・県予選順位を確定。HPでお知らせ
全国大会出場者		
11月27日(水)まで	東京事務局にデータ送信	・出場校の顧問が行う (全国HP) http://ajgika.ne.jp/ を確認
11月30日(土)まで	書類提出	
1月25日(土)	全国大会	競技会場: 女子栄養大学

6 運営における確認事項

部屋の配置について	調理室の確認について
視聴覚室・・・生徒受付、控室、保護者待機場所 調理室・・・実技審査場所 選択4教室・・・審査員控室 被服室・・・プレゼン室、スタッフ控室	①調理室内の使用上の注意、借用備品の位置確認 ※評価や運営方法の確認はフェア運営委員会と前日に行う ②前日準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理室外(廊下)壁、作品展示場所横に競技チームのレポート展示 ・ 調理室内の確認 ・ 被服室にチーム名のプレートを設置 ・ 貸し出す調理器具の確認 ③当日準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査用紙、筆記用具、画板、調理台にチーム名プレートを設置

6 スタッフの動き(家庭分野フェア委員、担当事務局)

7:50	<p>運営委員は身支度をすませ、湘南工科大附属高の調理室で打ち合わせ (荷物は被服室へ 貴重品は身に付けておけるポシェットなどを用意) 審査内容の確認(基準)、担当調理台確認(1人1台)</p>	
8:00	<p>生徒は湘南工科大附属高 視聴覚室 集合 器具や貴重品以外の荷物を置きに来る+傷みやすい食材のみを調理準備室冷蔵庫へ (担当:食材保管庫・冷凍庫担当 G先生)</p>	
8:30~9:20	<p>その後8-303へ移動して開会式参加 開会式 選手宣誓: 開会式終了後 視聴覚室にて競技説明。 ※生徒が身支度を済ませるので、爪、服装その他のチェックを行う。 ※担当・・・A先生①班、B先生②班、c先生③班、D先生④班、E先生⑤班、F先生⑥班 仕事内容・・・食材保管補助、身支度チェック、調理室の現状復帰 調理室入室後は道具の整理等はできるが、調理の下準備はしない。開始の合図まで待機。</p>	
9:30	<p>競技開始。審査員と役員の方以外は調理室から出て見学。</p>	
11:10	<p>競技終了。</p>	
11:20過ぎ	<p>※大皿に盛りつけた試食用の料理を包丁でカットして試食の準備。(A先生・B先生) 撮影用弁当箱の蓋を取り、撮影用ネームとともに撮影する。(G先生) →この写真が全国大会の書類審査へ。 プレゼン(プレゼン室(被服室)へ移動) 各チーム1分のプレゼンの様子の撮影をお願いします。全員で全チームを見る。 ※あまりにも片付けられていないチームについては、発表順を繰り上げ、自分のチームの発表後は退出して片付ける。審査員は審査員室(選択4教室)で審査開始。 ※運営委員は、調理室の現状復帰確認。 調理室最終確認。 審査結果を報告し、試食用の皿、流しなどをきれいにする。</p>	
11:30	<p>(生徒) 荷物を持って8-301 カンファレンスホールへ移動。</p>	<p>(スタッフ) 附属高校の片付け 視聴覚室と調理室が終わり次第、一般スタッフは解散。</p>
11:45	<p>部門閉会式 終了後 解散 (昼食は糸山英太郎記念教育総合センター1Fラウンジでとる)。 審査(選択4教室) 調理室と視聴覚室の片付けが終わり次第、運営委員は解散。</p>	<p>審査結果が出次第、審査員解散、 審査入力を終えて順位確定後、選択4教室と被服室を片づけて附属高校から撤収する。</p>

【競技担当者・申込書類提出先】

神奈川県立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
相模原市弥栄中学校 教諭 中瀬 有喜(家庭部長)
☎252-0229 相模原市中央区弥栄三丁目1番7号
電話 042-758-0252 ファクシミリ 042-758-0693
E-mailアドレス obentoukonkuru@gmail.com

VI 創造ロボットアイデアコンテスト

1 目 的

- (1) 中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストを技術・家庭科の授業で習得した知識及び技能の延長上におき、参加者が互いに工夫点や機能性、構造などを学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技能・努力を評価し合う。

2 各部門・競技内容について

- (1) 基礎部門：「Let's collect, carry, and load!」（集め、運べ、積み込もう）

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できるロボットの部門。制限時間 90 秒で、コートに転がした支援物資アイテム 25 個を、障害物アイテム 5 個を移動させたり、回避したりしながら、支援物資アイテムのみをコート 3 箇所のスポット上に積み込む競技。中学 3 年間で複数回参加が可能。

ロボットの規格は【300×300×300】*の電源 3V，モータは 3 個まで。1 チームは 1 名から 4 名で構成する。競技エリアへの参加は 3 名までとし、1 名を操縦者、2 名をアシスタントとする。それ以外の生徒は当日病気等の欠場者が出た際のリザーブとし、競技エリアに入ることはできない。

- (2) 計測・制御部門：「Mission is “整地！” by プログラムカー」

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で参加できるロボットとプログラミングの部門。制限時間 90 秒で、コートに撒かれたアイテム（ペットボトルキャップ）25 個を、ゴールエリアの決められた場所（スポット）に入れる競技。中学 3 年間で複数回参加が可能。

ロボットの規格は【250×250×250】の電源 9.6 V，モータは 3 個まで。1 チームは 1 名から 4 名で構成する。競技エリアへの参加は 2 名までとし、それ以外の生徒は当日病気等の欠場者が出た際のリザーブとし、競技エリアに入ることはできない。

- (3) 応用・発展部門：「メッセージタワー 2」

中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットの部門。時間内に、ロボットを使ってコート中央の資材置き場にあるアイテムを、自陣エリアの建設予定エリアに積み上げる競技。中学 3 年間で複数回参加が可能。

ロボットの規格は【300×300×450】の電源 3 V，モータは 6 個まで。1 チームは 1 名から 6 名で構成し、操縦者は 2 名、他の生徒はアシスタントとする。ただし、審判の妨げにならないようにする。

※説明中のロボットの規格はすべて【幅×奥行×高さ】(mm)

- (4) 動画部門

ダンスや機能など、対戦競技型にとらわれないオリジナルロボットのパフォーマンスを発表する。

*同一大会において、複数部門にエントリーすることは認められません。

*各部門の競技詳細は創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会の HP をご確認ください。

*県フェアでは、PR タイムの代わりに、競技終了後ロボットを見せ合う時間を設けます。

3 運営方法について

- (1) 1ゲームの運営時間（予定） * 出入りも含む
 基礎 10分 / 計測・制御 10分 / 応用・発展 10分

	基礎	計測・制御	応用・発展
セッティングタイム	30 秒	20 秒	なし
開始準備時間	10 秒	30 秒	10 秒
競技時間	90 秒	90 秒	150 秒

(2) 進行

- 基礎部門は4コート、計測・制御部門、応用・発展部門はそれぞれ1コートで実施する。
- 車検は午前、午後の2回行い、準備が出来次第はじめる。
- 決勝トーナメントは基礎部門8チーム、計測・制御部門3チームで行う。
- 応用・発展部門については、参加数が2校3チーム以内の場合、各顧問の先生方と相談の上、当日競技を行わずに動画を事務局で確認して関東大会への参加とする

(3) その他

- はんだごての取り扱いについて徹底する。
- 充電、カメラ撮影等のために会場のコンセントを使用することはできない。

4 表彰・審査について

各部門の競技時間をずらし、計6名（予定）の審査員で全部門の審査を行う。

- (1) 県知事賞 * 全部門から1チーム
- (2) 県教育長賞 * 全部門から1チーム
- (3) 湘南工科大学長賞 * 全部門から1チーム
- (4) 中文連会長賞* * 基礎、計測・制御、応用・発展部門から各3チーム、動画部門1チーム
- (5) 県技家研会長賞(得点賞) * 基礎、計測・制御、応用・発展部門から各3チーム、動画部門4チーム

※ 基礎、計測・制御、応用・発展部門は競技得点とは別に、審査員の選出により中文連会長賞の上位3チーム（動画部門は上位5チーム）を関東大会へ推薦します。なお、推薦は該当チームが県大会にエントリーした時点でのメンバーに与えられるものであり、不測の事態を除き、上位大会進出時のメンバー変更は認められないものとします。また、変更する際は事前に事務局担当者までご連絡ください。

6 タイムテーブル

時刻	行 程
8:00	受付開始（A館1階ラウンジ） 引率教員による一括受付。 出場生徒は、体育館へ荷物をもって移動し、割り振られた所定の場所に荷物を置く。 荷物を置いた後に開会式会場へ移動。
8:30	開会式
9:00	会場準備 コートや観客席の設置及び最終調整。準備が終了次第、係ごとに集合し、係長を中心に役割分担などの打ち合わせを行う。

9:15	顧問・役員・審判打ち合わせ 運営担当より / 審判長よりルール確認
9:30	キャプテン会議
9:40	車検開始 各部門別審判打ち合わせ 合格したチームはチーム名プレートを受け取る
10:00	競技開始 基礎部門 (10校: 24チーム) 計測・制御部門 (2校: 3チーム) 応用・発展部門 (3校: 3チーム)
12:30	決勝トーナメント進出チーム抽選 昼食
13:30	決勝進出チーム車検開始
14:00	決勝トーナメント
15:00	競技終了 / 次年度開催の神奈川入門部門エキシビジョン 審査及びロボット公開 選手は出場ロボットとチーム名プレートを公開スペースへ 審査委員会会議 (各賞決定, 関東推薦) 同時進行で会場の撤収作業
15:30	閉会式・表彰式 (場所: 8号館 301) 司会・進行: 式典部 1 結果発表 (坪田 技術部長)・表彰 2 学長の言葉 (木枝 暢夫 学長) 3 講評 (佐藤 竜也 指導主事) 4 諸連絡 (坪田 技術部長) 5 閉式の言葉 (比留川 副部会長) 関東出場チームへの連絡 撤収完了

7 その他

当日チームごとに徴収するコート代については、チームのエントリー数が確定後、県技・家研 HP (<https://www.gikaken.com/>) にてお知らせします。ご承知おきください。

【競技担当者・申込書類提出先】

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
茅ヶ崎市立松浪中学校 教諭 坪田 柁人 (技術部長)
☎253-0022 茅ヶ崎市松浪二丁目6番47号
電話 0467-85-1127 ファクシミリ 0467-85-1128
E-mail アドレス matsunami-j@chigasaki.ed.jp

VII 来年度の木工チャレンジコンテストについて

学習指導要領の変更により、現状の授業では例年通りのコンテストの開催は困難となってきました。そこで神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会として、独自の開催を計画しております。

【A 生活を豊かにするモノづくり部門】

- 「生活をより豊かにし、問題を解決するモノづくり」をテーマに、身の回りの問題点を解決できるモノなどの製図したものを募集します。主に手書きで製図、設計したモノを想定しています。
- 授業で製作したもの、授業外で製作したもの、2つに分けて表彰を行います。
- 製図用紙は授業で使われているもの、市販されているものなど用紙の指定はありません。
- 製図方法は学習指導要領で示されている「第三角法による正投影図」「等角図」を主とし、サイズなどが分かるようにしてください。また、設計製図のため木材以外の材料を使用するものでも構いません。

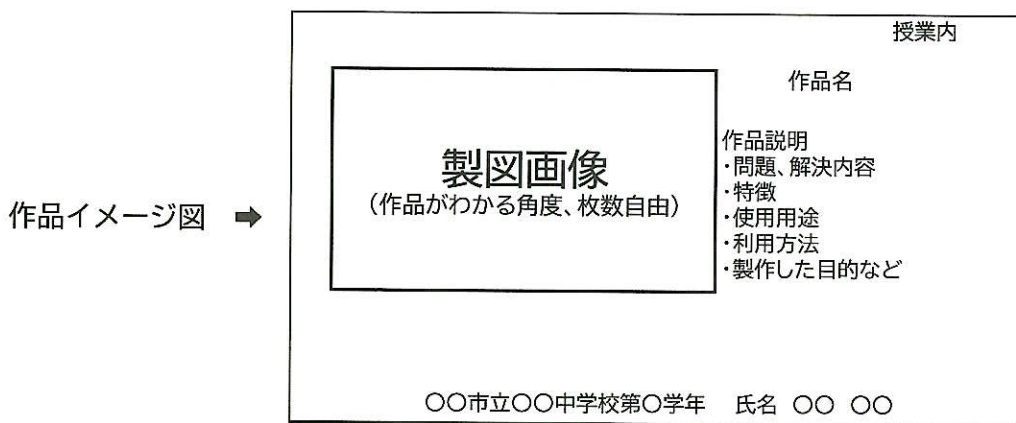
【B 社会を豊かにするモノづくり部門】

- Aと比べ、社会全体を考え、製図（設計）した作品を募集します。主にデジタルで製図、設計したモノを想定しています。
- 「社会を豊かにできるアイデア」を募集します。CAD などコンピュータを用い、3次元の設計を行ったモノなどの製図（設計）したものを募集します。
- 授業で製作したもの、授業外で製作したもの、2つに分けて表彰を行います。
- 製図（設計）方法は自由としますが、作品の特徴が分かる画像データを使用します。
- CAD 以外にも 3D プリンター作品など、デジタルで設計したものは対象となります。

【C 木工チャレンジコンテスト部門】

- 今年度と同じ形式で実施します。今年度と同様、事前に全国大会に推薦を希望するかの意思を確認し、全国大会を希望しない場合は**上位大会には進出しません**。

	審査方法	当日	上位大会	提出方法	授業作品
A 生活を豊かにするモノづくり	○製図(設計図)	入賞者のみ	なし	A3 用紙(横)1枚を担当事務局へ郵送	可
B 社会を豊かにするモノづくり	○紹介文など	展示(予定)			
C 木工チャレンジコンテスト	競 技	参加が必要	希望者(全国)		



VIII 創造アイデアロボットコンテスト 新部門(入門部門)について

本大会の目的にある「中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とする」から、より多くの県内技術・家庭科技術分野の先生方、経験年数の浅い先生方にロボコンに興味をもってもらい、授業で実践し、大会に挑戦する糸口になってほしい……！

そのような思いから、令和7年度より、現在実施している全国共通3部門の競技に追加して、神奈川県独自の入門部門を設立します。

神奈川県独自入門部門(名称は今後決定予定) 競技内容について

*参考：九州ブロック

- 参加資格等の規則はありませんが、中学校技術・家庭科技術分野の授業で製作した生徒のチーム、もしくは部活動の1年生チームを基本とします。
- 「がれきの撤去」という課題解決のもとで簡単なロボット製作を行い、学校の工作机等を用いて授業内で競技を行うことができるよう、簡単なルール・コートを設定します。
- 競技はロボットによるタイムトライアル型とし、自陣コート内にあるアイテムを指定の場所に運ぶ時間を競うものとします。ロボットは有線操作によるもので、1台とし、モータは3個まで、電源3V程度のものである予定です。
- 令和6年度 in かながわロボコン会場にて、競技のデモンストレーションを行う予定です。また、競技の詳細については来年度に向けて、随時発表させていただきます。

◆この資料についてのお問合せは次に示す連絡先までお願いいたします◆

神奈川県公立中学校教育研究会 技術・家庭科研究部会事務局
川崎市立南大師中学校 教諭 矢坂 健太郎（フェア事務局長）

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 24 番地の 1

電話 044-266-2125 ファクシミリ 044-287-4071

E-mail アドレス t2005745@kawasaki-edu.ed.jp